

高齢者住宅メディカルシェアハウス ご家族様からのお便り紹介

平成 27 年初秋に入居者S様が亡くなりました。

そのS様の妹様から頂いたお手紙をご紹介します。

看護、介護にたずさわる私達にとって、このようなお手紙をいただいたことは何よりも嬉しく、励みになります。これからも今まで通り利用者様ご家族様のお気持ちに寄り添い、一緒に人生を楽しみながら最善を尽くしていきたいと思っています。今年亡くなられた利用者様の妹様から頂いたお手紙をご紹介します。

前略

9 月に入ってほっと息をついたものの秋雨前線…。天候不順の折ですがお元気でしょうか。

このたびは、姉Sの郵便物をお送りいただきありがとうございました。(その郵便物の中に)姉の同窓会案内がありました。その中に死亡の連絡ができる用紙が入っていたので、早々に幹事様にFAXいたしました。

姉の介護のおかげでケアマネージャーの〇〇さんやマザーハウスの皆様、横手さんや山本(管理者)さんに出会え、私にとっても、とても幸せでした。高齢者の介護でいろいろなことが報道されたりしますが、素晴らしい理念をもって、誠実に取り組んでくださっている方々がいらっしゃるということは一条の光です。

これから、私も要支援、要介護の仲間入りする身の上にとって、まだまだ希望がもてます。もっとも明日から「青春の 18 きっぷ」で伊勢半島を一周する我が身にとっては、その日がゆっくりきてくれることを祈っています。

もう少し不安定な気候が続くそうですが、お体を大切に！！
マザーハウスの皆様にもよろしくお伝えください。

2015. 9. 6 草々

妹 T・S